



びわ湖を知る学びの場



びわ湖や川、森に出かけて身近な自然にふれ、自然の素晴らしさを学んでみましょう。地域のすてきなよさにふれたとき、きっと、そのよさを周りの人に伝えたいとなったり、もっと自分たちの周りの環境を知りたくなるはずです。

■湖に浮かぶ学校「うみのこ」(2-16 びわ湖フローティングスクール「うみのこ」)

「うみのこ」は、滋賀県の小学5年生全員が乗船する学習船です。一泊二日の航海を通して、びわ湖のことや環境問題について様々な面から学習します。この活動を「びわ湖フローティングスクール」といい、世界的に見てもとても珍しい、滋賀県ならではの活動です。

プランクトンや魚の観察、水の透視度調査などを行い、びわ湖の抱える様々な問題を、びわ湖で学ぶことができます。



2代目学習船「うみのこ」

■森林を学ぶ「やまのこ」(2-17 森林環境学習「やまのこ」)

「やまのこ」学習は、森林への理解と関心を深め、人と豊かに関わる力を育むために、小学校4年生が樹木の観察や間伐体験などの体験学習を行います。

この学習で、森林がびわ湖の水源として重要な役割を果たしてくれることを学んだ後、5年生のびわ湖フローティングスクール「うみのこ」の学習につながっていきます。



間伐体験の様子

■環境学習をもっとみんなの日常に

環境学習センターは、環境学習を普及・促進することを目的に設置されました。環境に興味をもった人が生活や身の回りの自然環境について気軽に話したり行動したりできるように、情報提供やサポートをしています。

「エコロレーが」というウェブサイトでは、県内で開催される環境学習イベントや、学びたいこと・体験したいことを「教えてくれる人」を探したり、環境学習に使う用具を無料で借りたりすることができます。

「エコロレーが」
WEBサイトはこちら



びわ湖をもっと好きになろう



びわ湖は、私たちの生活を映す鏡とされています。大規模な赤潮を背景とした石けん運動をはじめ、びわ湖を大切に守ってきた過去の人々の想いを忘れず、これからもびわ湖とともに歩んでいきましょう。

■7月1日は「びわ湖の日」(4-2 びわ湖の日とびわ活)



赤潮

1977年、家庭からの排水などにより、淡水赤潮が大発生するなど、びわ湖の水のよごれが大きな問題になりました。

◀ 赤潮の原因となる
植物プランクトン (ウログレナ・アメリカナ)



石けん運動

赤潮の原因のひとつが合成洗剤に含まれる「リン」だと知った滋賀県の人々は、自分たちの力でびわ湖をきれいにしようと「リン」を含む合成洗剤をやめて粉石けんを使う「石けん運動」を始めました。

そして、びわ湖よごさないための条例ができ、最近では赤潮は発生しなくなりました。



びわ湖を美しくする運動

1981年には、この条例ができ1周年を記念し、7月1日を「びわ湖の日」に決定しました。この日は、びわ湖を守る大切な日として、県内一斉に清掃活動が行われるなど、環境を守る活動を行う日として今も受け継がれています。



▶びわ活してみよう！



びワイチ



えび豆作りの体験



水郷SUP



湖岸の清掃

「びわ活」とは、びわ湖と関わる様々な活動のことです。びわ湖で遊ぶことも、びわ湖の恵みを味わうことも、絶景スポットで写真を撮ることも、湖岸のごみを拾うことも全てびわ活です。

滋賀県ホームページ「びわ活ガイド」には、いろんなびわ活イベントを掲載しています。「びわ湖の日」をきっかけに、あなたにぴったりのびわ湖との関わり方を見つけてみましょう。